

First Trust Tactical High Yield ETF
ファーストトラスト タクティカル ハイイールド ETF

交付運用報告書

2023年10月31日に終了する計算期間

免責事項

この交付運用報告書は、2023年10月31日付 Annual Report の記載事項の翻訳に基づいており、日本における投資家の参照用に作成されたものです。投資家は、この交付運用報告書及び上記 Annual Report との間に齟齬が生じた場合、上記 Annual Report が優先されることにご留意下さい。

- (注) 1. 本書に記載の「ドル」又は「\$」という用語は、別段の記載がある場合を除き米ドルを指します。また、本書に記載の金額のうち通貨単位の記載がないものは、別段の記載がある場合を除きその通貨単位は米ドルです。
2. 本書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。

2024年8月15日

金融庁長官 殿

発行者

受益証券発行者名	ファースト・トラスト・エクスチェンジ・トレーデッド・ファンドIV (First Trust Exchange-Traded Fund IV)
----------	---

代表者の役職氏名	プレジデント兼チーフ・エグゼクティブ・オフィサー ジェームズ・エム・ディカス (James M. Dykas, President and Chief Executive Officer)
----------	--

本店の所在地	アメリカ合衆国、イリノイ州、ウィートン、イースト・リバティー・ドライブ 120 番地 400 号室 (120 East Liberty Drive, Suite 400, Wheaton IL 60187, United State of America)
--------	---

代理人の氏名又は名称	弁護士 樋 口 航
------------	-----------

代理人の住所又は所在地	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
-------------	---

事務連絡者氏名	弁護士 樋 口 航
---------	-----------

事務連絡場所	〒100-8136 東京都千代田区大手町一丁目1番1号 大手町パークビル ディング アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業
--------	---

電話番号	(03)6775-1142
------	---------------

外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載
した書面

(交付運用報告書)

投資信託及び投資法人に関する法律第59条において準用する同法第14条第4項及び第6項の規定により外国投資信託に関する投資信託財産運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面（交付運用報告書）を提出します。この報告書の記載事項は、事実と相違ありません。

本書の記載事項の説明**1. 運用方針**

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」を参照。

2. 計算期間中における資産の運用の経過

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

3. 運用状況の推移

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」、「ポートフォリオの解説（未監査）」及び「財務ハイライト」等を参照。

4. 計算期間の末日における純資産及び基準価額の状況

「貸借対照表」、「損益計算書」、「純資産変動計算書」及び「財務ハイライト」等を参照。

5. 信託報酬その他の手数料等

「ファンドの費用（未監査）」及び「損益計算書」等を参照。

6. 投資の対象とする有価証券等の主な銘柄

「ファンドのパフォーマンス概要（未監査）」等を参照。

将来予想に関する記述についての注意事項

本報告書には、1933年証券法（その後の改正を含みます。）及び1934年証券取引所法（その後の改正を含みます。）の意味における一定の将来予想に関する記述が含まれています。将来予想に関する記述には、ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」又は「アドバイザー」といいます。）及びその代表者の目標、信念、計画、又は現在彼らに利用可能な情報を考慮した現在の期待に関する声明が含まれます。将来予想に関する記述には、現在又は歴史的事実にのみ関連しないすべての記述が含まれます。例えば、将来予想に関する記述には、「予期する」、「見積もる」、「意図する」、「期待する」、「信じる」、「計画する」、「かもしれない」、「するはずである」、「するだろう」など、将来の出来事や結果の不確実性を伝える言葉の使用が含まれます。

将来予想に関する記述には、既知及び未知のリスク、不確実性、その他の要因が含まれ、これらの要因が、本報告書で述べられているファーストトラスト・エクステンジ・トレーデッド・ファンド IV（以下「本トラスト」といいます。）のシリーズ（ファーストトラスト タクティカル ハイイールド ETF。以下「本ファンド」といいます。）の実際の結果、業績、又は成果が、将来予想に関する記述によって表明又は暗示される結果、業績、又は成果と大幅に異なる可能性があることを意味します。この報告書に含まれる情報を評価する際には、これらの将来予想に関する記述に過度に依存しないよう注意してください。これらはアドバイザー及びその代表者の判断を、ここに記載された日付の時点でのみ反映しています。私たちは、ここに記載された日付以降に生じる出来事や状況を反映して、これらの将来予想に関する記述を公に改訂又は更新する義務を負いません。

パフォーマンス及びリスク開示

本ファンドがその投資目的を達成するという保証はありません。本ファンドは市場リスクに曝されています。これは、本ファンドが所有する証券の市場価値が減少し、その結果、本ファンドのシェアの価値があなたの支払った価格よりも低くなる可能性があることを意味します。したがって、本ファンドへの投資により損失を被ることがあります。

引用されているパフォーマンスデータは過去の実績を表しており、これは将来の結果の保証ではありません。現在のパフォーマンスは、示されている数値よりも低いか高いかもありません。最新の月末パフォーマンスデータについては、www.ftportfolios.com をご覧になるか、又は財務アドバイザーにお聞きください。投資収益、純資産価値、及びシェア価格は変動し、本ファンドのシェアは売却時に、その元のコストよりも価値が高い可能性もありますが、低い可能性もあります。

アドバイザーは、本ファンドのウェブページ（www.ftportfolios.com）で、定期的に本ファンドのパフォーマンスに関する追加情報を提供することがあります。

本報告書の読み方

本報告書には、本ファンドへの投資を評価するのに役立つ情報が含まれています。本ファンドに関する詳細な情報が含まれており、本ファンドのパフォーマンスや投資アプローチに関するインサイトを提供するデータや分析が提示されています。

本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームによるポートフォリオの解説を読めば、市場環境が本ファンドのパフォーマンスにどのように影響したかを理解できるでしょう。続く統計情報は、本ファンドのパフォーマンスが関連する市場ベンチマークと比較してどのようなものであったかを理解するのに役立つかもしれません。

アドバイザーの人員によって表明された意見は、あくまで情報に基づいた彼らの意見であることを念頭に置くことが重要です。これらの意見を約束や助言と考えるべきではありません。意見は、統計と同様に、本報告書の表紙の日付までの期間をカバーしています。本ファンドへの投資に伴う主要なリスクは、目論見書、追加情報のステートメント、及びその他の本ファンドの規制関連の提出書類に明記されています。

ファンドのパフォーマンス概要（未監査）

ファーストトラスト タクティカル ハイイールド ETF（以下「本ファンド」といいます。）の主な投資目的は、経常的な収益を提供することです。本ファンドの 2 番目の投資目的は資本増価です。本ファンドは、通常の市場環境下では、純資産（投資のための借入れを含みます。）の少なくとも 80%を、購入時に投資適格未滿の格付けを付与されている高利回り債又は本ファンドのアドバイザーが同等の信用力を有すると判断した無格付けの有価証券に投資します。投資適格未滿の証券とは、購入時に S&P グローバル・レーティングから「BBB-」未滿の格付け、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから「Baa3」未滿の格付け又はその他の全米で認知された統計的格付機関により同等の格付けが付与されている証券を指します。投資適格未滿の格付けが付与されている高利回り債は、一般に「ジャンク」債と呼ばれています。このような証券には、米国内外の社債、銀行ローン及び転換社債が含まれることがあります。ある証券が投資適格未滿であるかどうかを判断する際には、入手可能な最も低い格付けを考慮します。本ファンドは、ディストレスト証券（以下に定義します。）や普通株式を含む収益性のない有価証券に投資することがあります。財務状況について問題があるか又は不透明であり、破産手続き、組織再編又は財務リストラクチャリングを行う可能性のある会社を本報告書では「ディストレスト証券」と呼んでいます。本ファンドによるディストレスト証券（投資時に判断されます。）への投資は純資産の 15%以下です。本ファンドは、通常の市場環境の下では純資産（投資のための借入れを含みます。）の 40%を限度として銀行ローンに投資することができますが、第一抵当権付シニア有担保変動金利銀行ローン以外のローンへの投資は純資産（投資のための借入れを含みます。）の 15%以下です。本ファンドは、Nasdaq, Inc.の上場規則により許容される範囲で上場デリバティブ及び店頭デリバティブに投資することができます。本ファンドは、追加の信用リスクを引き受け、ハイイールド債市場へのエクスポージャーを取得するために、一定のクレジット・デリバティブを利用することがあります（クレジット・デフォルト・スワップ・インデックスの利用を含みます。）。本ファンドは、すべての投資家に適したものではない可能性があります。

パフォーマンス

	平均年間トータルリターン				累積トータルリターン		
	2023 年 10 月 31 日に終 了した 1 年間	2023 年 10 月 31 日に終了 した 5 年 間	2023 年 10 月 31 日に 終了した 10 年間	設立 (2013 年 2 月 25 日) から 2023 年 10 月 31 日までの期 間	2023 年 10 月 31 日に 終了した 5 年間	2023 年 10 月 31 日に 終了した 10 年間	設立 (2013 年 2 月 25 日) から 2023 年 10 月 31 日 までの期間
ファンドのパフォーマンス							
NAV ⁽¹⁾	3.51%	1.74%	2.83%	3.28%	9.03%	32.23%	41.17%
市場価格	3.53%	1.73%	2.72%	3.26%	8.93%	30.82%	40.88%
インデックスのパフォーマンス							
ICE BofA US High Yield Constrained Index	5.81%	2.86%	3.77%	3.96%	15.14%	44.83%	51.46%

設立以来の期間におけるトータルリターンは、本ファンドの設立日から計算されます。「平均年間トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の平均年間変化率を表します。「累積トータルリターン」は、示された期間における投資の価値の総変化率を表します。

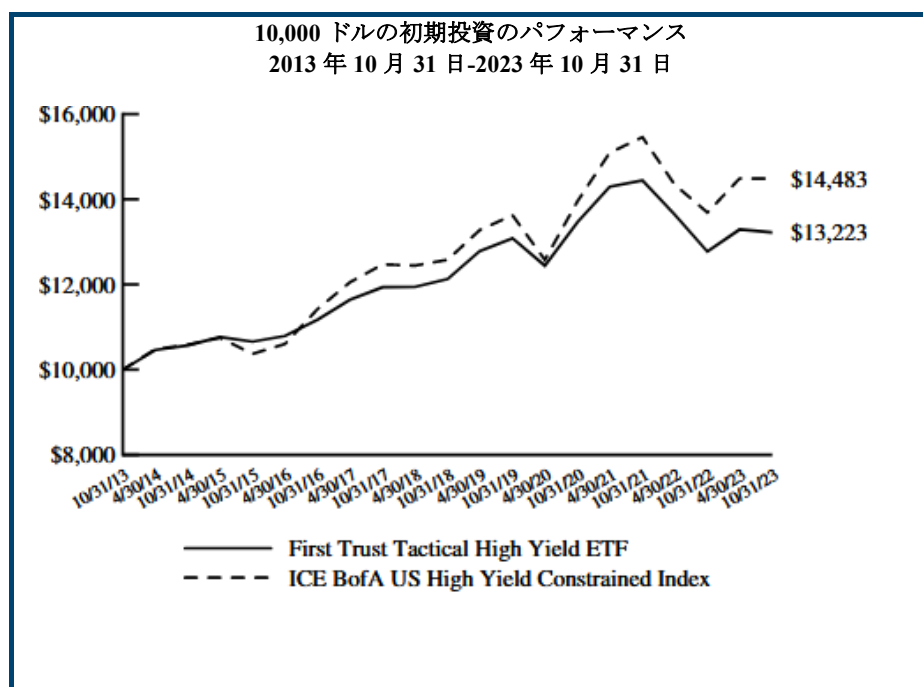
本ファンドのシェア 1 口当たり純資産価額（以下「NAV」といいます。）は、本ファンドのシェア 1 口の価値であり、本ファンドのすべての資産（未収利息や配当を含みます。）の価値から、すべての負債（未払費用や宣言されているが未払いの配当を含みます。）を差し引いて、発行済みシェア総数で割って算出されます。市場リターンを計算するために使用される価格（以下「市場価格」といいます。）は、本ファンドの NAV が計算される時点での全米で最良のビッド価格とオファー価格の仲値（以下「NBBO」といいます。）を用いて決定されます。証券取引委員会の規則によると、NBBO は、本ファンドの NAV が計算される時点で本ファンドを取引している各取引所の中で最も高い買い価格と最も低い売り価格から構成されます。2019 年 1 月 1 日以前は、使用されていた価格は、本ファンドの NAV が計算される時点での本ファンドのシェアが取引されている証券取引所における最も高いビッドと最も低いオファーの仲値でした。本ファンドのシェアが本ファンド設立後まで流通市場で取引されなかったため、設立から本ファンドのシェアが流通市場で取引される最初の日までの期間においては、本ファンドの NAV を流通市場の取引価格に代わるものとして使用し、市場リターンを計算します。NAV 及び市場リターンには、すべての分配金が NAV と市場価格で本ファンドに再投資されたと仮定しています。

インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。また、市場リターンには、流通市場取引に関して支払義務が生じる可能性の

ある仲介手数料は含まれていません。仲介手数料が含まれる場合、市場リターンは低くなります。表示されているトータルリターンは、インデックス内の証券における配当の再投資を反映しています。表示されているリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。本ファンドのシェアの投資リターンと元本価値は、市場状況の変化に伴って変動します。本ファンドのシェアは、償還される際や市場で売却される際に、元のコストよりも価値が高くなることも低くなることもあります。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

- (1) 2023年1月3日、本ファンドが保有するシニアローン投資の評価に用いられる公正価値評価方法が変更されました。同日前は、プライシングサービスから提供されるビッドサイドの価格を用いてシニアローンが評価されていました。同日後は、プライシングサービスから提供されるビッド価格とアスク価格の仲値を用いてシニアローンが評価されています。2023年1月3日に行われた本ファンドの公正価値評価方法の変更により、同日に本ファンドの純資産価額が一時的にシェア1口当たり約0.035ドル増加しましたが、これは本ファンドのパフォーマンスに0.09%のプラスの影響を与えたこととなります。プライシング方法の変更がなければ、NAVベースでの本ファンドのパフォーマンスは、2023年10月31日に終了した1年間、5年間平均年間、10年間平均年間、設立来平均年間、5年間累積、10年間累積及び設立来累積がそれぞれ3.41%、1.73%、2.83%、3.27%、8.96%、32.15%及び41.08%でした。

- (1) 割合はロング・ポジションのみに基づきます。マネー・マーケット・ファンド及びショート・ポジションを除きます。
- (2) 金額は0.1%未満です。
- (3) 格付けは S&P グローバル・レーティングによるものです。信用格付けとは、負債証券（民間格付けの負債証券を除きます。）について、発行体の信用力を全米で認知された統計的格付機関（NRSRO）が評価したものです。格付けは、一般に AAA（最高）から D（最低）までの尺度で評価されます。投資適格とは、長期信用格付けが BBB-以上の発行体として定義されます。表示されている信用格付けは、本ファンドの原証券の発行体の信用力に関するものであり、本ファンドやそのシェアに関するものではありません。信用格付けは変更される場合があります。



パフォーマンスの数値は、すべての分配金の再投資を前提としており、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの償還又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。インデックスとは、特定の金融市場やセクターを追跡する統計的な合成物です。本ファンドと異なり、インデックスは実際に証券ポートフォリオを保有しておらず、したがって本ファンドが負担する費用は発生しません。これらの費用は、本ファンドのパフォーマンスに悪影響を及ぼします。本ファンドの過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを予想するものではありません。

ディスカウントとプレミアムの頻度分布

本ファンドのシェアの市場価格が本ファンドの純資産価額より高い（プレミアム）又は低い（ディスカウント）日数を示す情報は、直近の年度及びそれ以降の直近の暦四半期（又は本ファンドの存続期間が短い場合はその期間）について、<https://www.ftportfolios.com/Retail/etf/home.aspx> で入手できます。

ポートフォリオの解説（未監査）

アドバイザー

ファーストトラスト・アドバイザーズ L.P.（以下「ファーストトラスト」といいます。）のレバレッジド・ファイナンス・チームは、投資適格未満の有価証券を専門とする経験豊富な投資の専門家 18 名で構成されています。このチームは、ポートフォリオ・マネジメント、リサーチ、トレーディング及びオペレーションの担当者からなります。2023 年 10 月 31 日現在、ファーストトラストのレバレッジド・ファイナンス・チームは約 55 億ドルのシニア有担保銀行ローン及びハイイールド債を管理又は監視していました。これらの資産は、個人及び機関投資家である顧客のために 2 本のクローズドエンド型ファンド、1 本のオープンエンド型ファンド及び 5 本の上場投資信託を含む様々な戦略で運用されます。

ポートフォリオ・マネジメント・チーム

以下の者が本ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。

ウィリアム・ハウジー、CFA—債券部門マネージング・ディレクター兼シニア・ポートフォリオ・マネジャー
ジェフリー・スコット、CFA—シニア・バイスプレジデント兼ポートフォリオ・マネジャー

ポートフォリオ・マネジャーは、本ファンドの日々の運用に第一義的に、かつ共同で責任を負います。ハウジー氏は 2013 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員であり、スコット氏は 2020 年より本ファンドのポートフォリオ・マネジメント・チームの一員となっています。

解説

本ファンドは、アクティブ運用型の上場投資信託（以下「ETF」といいます。）です。本ファンドの主な投資目的は経常的な収益を提供することであり、もう一つの目的はキャピタルゲインを提供することです。

市場動向

2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間の初めの時点で、連邦準備制度理事会（以下「FRB」といいます。）が 2.0%のインフレ目標へのコミットメントを繰り返す中、2022 年 11 月の消費者物価指数は前年同期比 7.1%増とインフレが高止まりしていました。この時点におけるフェデラルファンド金利誘導目標の上限は 3.25%でした。しかしながら、FRB の 2022 年 12 月の連邦公開市場委員会（以下「FOMC」といいます。）の会合までに、同委員会は 5.00~5.25%という想定を上回る最終的なフェデラルファンド金利誘導目標を予想し、インフレが低水準にとどまるという確信が FRB にないことを示唆しました。FOMC は、2023 年 7 月の会合で金利誘導目標を 5.25~5.50%に再び引き上げ、インフレ緩和の試み続けました。2023 年 9 月の会合では金利誘導目標を据え置き、本年と来年の経済成長見通しを上方修正する一方、2024 年の利下げ予想を引き下げました。これが報告期間の最後数週間におけるイールドの上昇、スプレッド・ボラティリティの増大及び株価下落の契機となりました。

2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間の 10 年物米国財務省証券利回りは、4.05%から 4.93%へと 88 ベーシス・ポイント（以下「bp」といいます。）上昇しました。S&P500® Index は 2023 年第 2 四半期末に 4,500 近辺で取引され、2022 年 10 月の底値を 1,000 ポイント近く上回りましたが、2023 年 10 月 31 日の S&P500® Index は 4,194 で取引を終え、2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間のリターンは 10.14%となりました。

ハイイールド債市場

米国財務省証券に対するハイイールド債のスプレッドは、2023 年 10 月 31 日に終了した過去 12 カ月間（以下「LTM」といいます。）に 20bp 縮小し、T+445bp となりました。現在のスプレッドは、長期平均スプレッド T+547 bps（1997 年 12 月~2023 年 10 月）を 102 bp 下回っています。ハイイールド債ファンドは、期中に 214 億ドルの純流出額を計上しました。これに対し、2022 年 10 月に終了した前 LTM 期間の純流出額は 499 億ドルです。

LTM 期間中、BB 格の債券（+4.70%）は B 格の債券（+6.29%）及び CCC 格の債券（+8.50%）に対してアンダーパフォームしました。ハイイールド債の平均価格は、期首時点の 85.67 ドルから期末時点は 86.31 ドルに上昇しました。

シニアローン市場

3 カ月物担保付翌日物調達金利（以下「SOFR」といいます。）に対するシニアローンのスプレッドは、2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間に 110bp 低下し、S+544bp となりました。現在のスプレッドは、長期平均スプレッド S+517 bp（1997 年 12 月~2023 年 10 月）を 27 bp 上回っています。シニアローン・ファンドは、2023 年第 3 四半期に 5 億ドルの資金流入を実現しました。第 3 四半期以外は資金流出となり、LTM の純流出額は合計 273 億ドルとなりました。これに対し、2022 年 10 月 31 日に終了した前 LTM 期間の純流入額は 18 億ドルです。

LTM 期間中、BB 格のシニアローン (9.82%) は、B 格のシニアローン (13.27%) 及び CCC 格のシニアローン (12.40%) の双方に対してアンダーパフォームしました。シニアローンの平均価格は、期首時点の 92.19 ドルから期末時点は 94.76 ドルに上昇しました。

デフォルト率

JP Morgan High-Yield Bond Universe 及び Morningstar® LSTA® US Leveraged Loan Index により測定されるハイイールド債及びシニアローン双方のデフォルト率は、2023 年 10 月 31 日に終了した 12 カ月間に上昇しました。ハイイールド債市場の LTM デフォルト率は期首時点の 0.84% から期末時点は 1.76% に上昇した一方、シニアローン市場の LTM デフォルト率は期首時点の 0.83% から期末時点は 1.36% に上昇しました。ハイイールド債及びシニアローン双方のデフォルト率は、長期平均デフォルト率の 2.99% 及び 2.70% をそれぞれ下回っています。

本ファンドのパフォーマンス

本ファンドのリターンは、2023 年 10 月 31 日に終了した LTM 期間中は純資産価額 (以下「NAV」といいます。) ベースで 3.51%、市場価格ベースでは 3.53% でした。ICE BofA US High Yield Constrained Index (以下「Index」といいます。) のリターンは、同期間中は 5.81% でした。

本ファンドは、報告期間の終了時点で 43 業種に分散した 310 の個別ポジションを保有していました。これに対し、報告期間の開始時点では 44 業種で 292 の個別ポジションを保有していました。メディア (15.37%)、ソフトウェア (15.30%) 及び保険 (14.95%) が期末時点における本ファンドの上位 3 業種のエクスポージャーを構成していました。2023 年 10 月 31 日時点の本ファンドのデュレーションは、3.60 年から 4.00 年へと僅かに長期化しました。

本ファンドは、報告期間中はレバレッジを減らしましたが、期末に向けてはレバレッジを戦術的に再配分しました。本ファンドのレバレッジは、期首時点で 6.76% であり、9.78% で期間を終えました。レバレッジが期中のパフォーマンスに与えた影響は僅少でした。シニアローンがハイイールド債に対してアウトパフォームしたため、シニアローンへの本ファンドの配分がパフォーマンスを押し上げました。テクノロジー及びエレクトロニクス業界並びに保険及びヘルスケア業界における強固な銘柄選択がパフォーマンスをさらに押し上げました。メディア業界への本ファンドのオーバーウェイト配分及びレジャー業界における銘柄選択は、パフォーマンスにとって逆風となりました。本ファンドのデリバティブ・ポジションは、期中のパフォーマンスにプラスの影響を及ぼしました。

本ファンドの直近の月次分配金はシェア 1 口当たり 0.2150 ドルであり、2022 年 10 月に支払われた月次分配金を 0.0100 ドル上回っています。直近 12 カ月間の分配金に基づく実質利回りは、NAV ベースでは 6.43% であり、市場価格ベースでは 6.44% でした。

本ファンドが LTM 期間中にデフォルトに見舞われなかったのに対して、JP Morgan High-Yield Bond Universe は同期間中にデフォルトに 21 回見舞われました。本ファンドがデフォルトに見舞われたのは設立以来 10 回です。これに対し、JP Morgan High-Yield Bond Universe は同期間中に 274 回でした。期末時点における本ファンドの LTM デフォルト率が 0.00% であるのに対し、期末時点における JP Morgan High-Yield Bond Universe の LTM デフォルト率は 1.76% です。

市場及び本ファンドの見通し

我々のマーケットの見方は、FRB の利上げサイクルが終わりに近づいているという認識が軸となっています。FRB は追加利上げについて市場にリークするかもしれませんが、今の債券市場は収益と金利リスクに関して言えばはるかにバランスが取れていると思われます。高い利回りは今後も債券のプラスのリターンを支え続けます。しかしながら、投資家は景気後退の可能性と時期を見極めようとしているため、市場のボラティリティが続くことが予想されます。したがって、景気連動性が限定的なセクターでディフェンシブなポジショニングを取りつつ信用の質を高めることを我々は志向しています。評価が改善したことでコーポレート・クレジット市場に魅力的な機会が生まれたと我々は認識しており、そうした市場の機会を評価する際は、引き続きボトムアップ型のクレジット・アンダーライティング・プロセスとリスク管理に対する厳格なアプローチを採用します。

ファンドの費用（未監査）

本ファンドのシェア保有者は、2種類のコストを負担します。すなわち、（1）取引コスト、及び（2）継続的な費用です。これには運用手数料、販売手数料及び/又はサービス（12b-1）手数料（該当する場合）、及びその他のファンド費用が含まれます。この例は、本ファンドへの投資に伴う継続的な費用を理解し、これらの費用を他のファンドへの投資の継続的な費用と比較するのに役立つことを目的としています。

この例は、期間の初めに投資され、2023年10月31日に終了した6カ月の期間を通じて保有された1,000ドルの投資に基づいています。

実際の費用

以下の表の最初の行は、実際の口座の価値と実際の費用に関する情報を提供します。この行の情報とあなたが投資した金額を併せて使用することで、その期間に支払った費用を推定することができます。単にあなたの口座の価値を1,000ドルで割ります（例えば、8,600ドルの口座価値を1,000ドルで割ると8.6になります）。その結果に、「6カ月間に支払われた費用」という見出しの最初の行の数字を掛けることで、この6カ月間にあなたの口座で支払った費用を推定できます。

比較目的の仮想例

以下の表の2行目は、本ファンドの実際の費用比率及び費用控除前の仮定された年間リターン5%を基にした仮想の口座価値と仮想費用に関する情報を提供します。これは本ファンドの実際のリターンではありません。この仮想の口座価値と費用は、期間の実際の最終口座残高や支払った費用を推定するために使用することはできません。この情報を使用して、本ファンドや他のファンドへの投資にかかる継続的なコストを比較することができます。これを行うには、この5%の仮想例を他のファンドのシェア保有者報告書に記載されている5%の仮想例と比較してください。

表に示されている費用は、継続的なコストのみを強調するためのものであり、仲介手数料などの取引コストは反映されていないことにご注意ください。したがって、表の2行目は継続的なコストの比較にのみ役立ち、異なるファンドを所有する際の相対的な総コストを判断するには役立ちません。さらに、これらの取引コストが含まれていた場合、あなたのコストはより高くなっていたでしょう。

	2023年5月 1日時点の口 座開始価値	2023年10月31 日時点の口座終 了価値	6カ月間に 基づく年間 費用比率	6カ月間に 支払われた 費用 (a)
ファーストトラスト タクティカル ハイイールド ETF(HYLS)				
実際	\$1,000.00	\$ 994.70	1.03%	\$5.18
仮定（費用控除前のリターンが5%）	\$1,000.00	\$1,020.01	1.03%	\$5.24

(a) 費用は、表に示された年間費用比率に期間中の平均口座価値（2023年5月1日から2023年10月31日まで）を掛けたものであり、さらに184/365（6カ月間を反映するため）を掛けたものに等しいです。

貸借対照表

2023年10月31日

資 産:

投資（評価額）	\$1,499,837,788
受取勘定:	
利息	25,160,665
売却された投資有価証券	2,606,451
配当	16,543
資産合計	<u>1,527,621,447</u>

負 債:

借入金	149,000,000
支払勘定:	
購入された投資有価証券	2,694,835
投資顧問料	1,139,253
信用取引利息費用	272,655
負債合計	<u>153,106,743</u>

純資産	<u>\$1,374,514,704</u>
-----------	------------------------

純資産の内訳:

払込資本	\$1,801,590,301
額面価額	358,000
分配可能利益（損失）累計額	(427,433,597)
純資産	<u>\$1,374,514,704</u>

シェア1口当たり純資産価額	<u>\$38.39</u>
---------------------	----------------

発行済シェア数（授権数の制限なし/シェア1口当たりの額面価額0.01ドル）	<u>35,800,002</u>
---	-------------------

投資（取得費）	<u>\$1,684,369,140</u>
---------------	------------------------

損益計算書

2023年10月31日に終了した年度について

投資利益:

利息.....	\$105,829,070
配当.....	2,040,893
投資利益合計.....	<u>107,869,963</u>

費用:

投資顧問料.....	14,703,089
信用取引利息費用.....	966,110
費用合計.....	<u>15,669,199</u>
正味投資利益（損失）.....	<u>92,200,764</u>

実現及び未実現の正味利益（損失）:

正味実現利益（損失）の内訳:	
投資.....	(73,082,719)
スワップ契約.....	301,878
正味実現利益（損失）.....	<u>(72,780,841)</u>
未実現増価（減価）の正味変動額.....	36,000,428
実現及び未実現の正味利益（損失）.....	<u>(36,780,413)</u>
運用による純資産の正味増加（減少）額.....	<u>\$55,420,351</u>

純資産変動計算書

	2023年10月 31日に 終了した年度	2022年10月 31日に 終了した年度
運用:		
正味投資利益（損失）	\$92,200,764	\$116,525,306
正味実現利益（損失）	(72,780,841)	(116,451,618)
未実現増価（減価）の正味変動額	36,000,428	(241,538,892)
運用による純資産の正味増加（減少）額	<u>55,420,351</u>	<u>(241,465,204)</u>
シェア保有者への分配の原資:		
投資運用	(95,472,212)	(121,509,986)
資本の払戻し	(497,443)	(5,652,770)
シェア保有者への分配合計	<u>(95,969,655)</u>	<u>(127,162,756)</u>
シェア保有者取引:		
シェア売却手取金	96,642,598	249,122,772
交換済シェア費用	(278,237,525)	(590,275,979)
シェア保有者取引による純資産の正味増加（減少）額	<u>(181,594,927)</u>	<u>(341,153,207)</u>
純資産の増加（減少）額合計	(222,144,231)	(709,781,167)
純資産:		
期首	<u>1,596,658,935</u>	2,306,440,102
		\$1,596,658,93
期末	<u>\$1,374,514,704</u>	<u>5</u>
発行済シェア数の変動:		
期首における発行済シェア数	40,450,002	48,300,002
売却されたシェア数	2,400,000	5,700,000
交換されたシェア数	(7,050,000)	(13,550,000)
期末における発行済シェア数	<u>35,800,002</u>	<u>40,450,002</u>

キャッシュフロー計算書

2023年10月31日に終了した年度について

営業活動によるキャッシュフロー：

運用による純資産の正味増加（減少）額 \$55,420,351

運用による純資産の正味増加（減少）額の、営業活動によるキャッシュフロー
（純額）への調整

投資対象資産取得 (1,424,987,391)

投資対象資産の売却、満期及び返済 1,585,951,416

投資に係るプレミアムの償却及びディスカウントの増価（純額） (2,409,493)

投資に係る正味実現損益 73,082,719

投資に係る未実現増価／減価及び未実行のローン・コミットメントの正味変
動額 (36,000,428)

資産及び負債の増減

未収利息の減少額 888,836

未収配当金の増加額 (3,305)

未払マージン利息の増加 120,504

未払投資顧問料の減少 (144,579)

営業活動によるキャッシュフロー \$251,918,630

財務活動によるキャッシュフロー：

シェア売却手取金 96,662,338

交換済シェア費用 (286,133,303)

投資運用によるシェア保有者への分配 (95,472,212)

資本の払戻しによるシェア保有者への分配 (497,443)

借入による正味手取金 33,291,263

財務活動によるキャッシュフロー (252,149,357)

現金及び制限付預金の減少額 (230,727)

期首における現金及び制限付預金 230,727

期末における現金及び制限付預金 \$—

キャッシュフロー情報に関する補足事項：

利息につき期中に支払った現金 \$845,606

現金及び制限付預金の調整：

現金 \$—

制限付預金 —

期末における現金及び制限付預金 \$—

財務ハイライト

各計算期間中の発行済シェア 1 口について

	10 月 31 日に終了した年度				
	2023	2022	2021	2020	2019
期首における純資産価額	\$39.47	\$47.75	\$47.00	\$48.06	\$47.02
投資運用による利益:					
正味投資利益 (損失)	2.36 ^(a)	2.63	2.47	2.33	2.49
実現及び未実現の正味利益 (損失)	(0.97)	(8.00)	0.91	(1.00)	1.13
投資運用による合計額	1.39	(5.37)	3.38	1.33	3.62
シェア保有者への分配の原資:					
正味投資利益	(2.46)	(2.78)	(2.63)	(2.39)	(2.56)
資本の払戻し	(0.01)	(0.13)	—	—	(0.02)
分配額合計	(2.47)	(2.91)	(2.63)	(2.39)	(2.58)
期末における純資産価額	\$38.39	\$39.47	\$47.75	\$47.00	\$48.06
トータルリターン ^(b)	3.51%	(11.56)%	7.25%	2.92%	7.90%
平均純資産に対する比率/補足データ:					
期末における純資産 (千単位)	\$1,374,515	\$1,596,659	\$2,306,440	\$1,974,126	\$1,432,088
平均純資産に対する費用合計の比率	1.01%	1.27%	1.05%	1.01%	1.23%
平均純資産に対する正味費用の比率 (支払利息を除く)	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%	0.95%
平均純資産に対する正味投資利益 (損失) の比率	5.96%	6.08%	5.11%	5.02%	5.22%
ポートフォリオ・ターンオーバー比率 ^(c)	29%	39%	50%	68%	50%

(a) 平均発行済シェアを基準としています。

(b) トータルリターンは、当初投資が期首の純資産価額で行われ、すべての分配が期中の純資産価額で再投資され、当該期間の最終日に純資産価額で交換 (redemption) がなされる、という前提で計算されています。表示されたリターンは、シェア保有者が本ファンドの分配金や本ファンドのシェアの交換 (redemption) 又は売却に対して支払う税金の控除を反映していません。トータルリターンは表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。

(c) ポートフォリオ・ターンオーバー比率は、表示された期間について計算されており、1 年未満の期間については年換算されていません。また、設定 (creation) や交換 (redemption) の処理及び現物取引により受領又は交付された有価証券を含みません。